**「アフリカの感染症を知る」シリーズ 第11回講演会**

アフリカ協会文化・社会委員会主催「アフリカの感染症を知る」シリーズの第11回講演会です。

前回は、医療法人観音会屋久島尾之間診療所の理事長/院長で東京女子医科大学グローバ

ルヘルス部門の客員教授でもある、杉下智彦教授に「アフリカにおける感染症の世界観と人類の新しい脆弱性」とのテーマでお話を頂きました。外科医師・保健システム専門家・医療人類学者として、アフリカを中心に 20 年間に 30ヵ国 で保健システム案件の立案や技術指導に、医療人類学的見地から携わってこられた杉下先生のお話は、非常に興味深いお話となったと思っております。

今回お話を頂く国連人口基金エリトリア事務所長の大橋慶太氏は、モントリオール大学

大学院にて人口統計学を学ばれた後、国連人口基金（UNFPA）に勤務され、セネガル、ニューヨーク本部アフリカ局、チャド、コンゴ民、ガボンでの活動に従事され、現在はエリトリアにて、政府機関への国別援助プログラムの計画、実施、評価のほか、家族計画プログラムの推進、性差に基づく暴力の削減、人口保健調査への技術援助など広く携わっていらっしゃいます。

　エリトリアは、アフリカ大陸北東部に位置する国ですが、暑い半乾燥気候・砂漠気候・亜熱帯性高原海洋性気候など混在する、寒暖差が激しくまた降雨量の少ない風土です。

エリトリアでの感染症としては、マラリアを筆頭に肝炎、狂犬病、ポリオや腸チフスなどが

見受けられますが、他方近年世界的に流行したCOVID19に関してはあまり発生していないとの情報もあります。独裁国家としても知られている同国の感染症対策について、興味深いお話が聞けるものと期待しております。

**概要**

日時：　 2024年7月4日（木）　14時から15時30分

場所：　 オンライン（ZOOM）

テーマ：　「エリトリアの感染症対策」

講演者：　大橋　慶太　　国連人口基金　エリトリア事務所長

司会 ：　池上清子　　　アフリカ協会副会長、　野口英世アフリカ賞選考委員、

公益財団法人アジア人口・開発協会副理事長

**プログラム**

　14時00分　　 開演

　14時00分　　 開催挨拶・講師紹介（池上清子委員長）

　14時10分　　 講演　　　　　　　（大橋慶太　国連人口基金　エリトリア事務所長　）

　15時00分　　 質疑応答　　　　　（司会：池上清子委員長）

　15時30分　　 終了

**講師略歴**

**大橋　慶太：（おおはし　けいた）**

国連人口基金では、20年以上勤務し、アフリカの人口と開発のプログラム(人口統計

整備、妊産婦死亡率削減、家族計画推進など)実施に従事。セネガル、チャド、コン

ゴ民主共和国、ガボンで勤務。ニューヨーク本部アフリカ局勤務時は南部アフリカ

を担当。2021年11月より現職。また、国際協力機構及び民間での勤務経験もある。

専門は人口統計学でサブサハラアフリカの人口政策と出生力転換が研究テーマ。

**池上清子：（いけがみ　きよこ）**

国連難民高等弁務官事務所、国連本部、国連人口基金、長崎大学大学院教授などを経て、現在(公財)アジア人口・開発協会副理事長。アフリカ協会副会長。

また、（公財）ジョイセフ、国際家族計画連盟ロンドン本部、（公財）プランインターナショナルジャパン（理事長）、日本赤十字社（常任理事）など多くの市民社会組織（CSOｓ）で経験を積む。一貫して、開発途上国の女性の健康推進、自立支援に携わっている。